

令和5年度の宿泊税活用事業(実績)

宿泊税活用額 297,171千円(事業費 517,418千円)

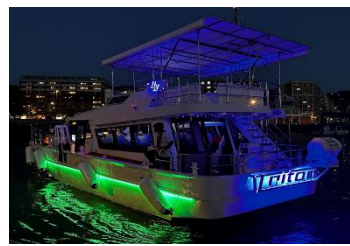
①訪問客へのサービス向上・消費拡大	44,025千円 (事業費 105,377千円)
○観光地域づくり推進費 40,550(63,999) ・サステナブルツーリズムとして、地域への貢献や地元の人々との交流プログラムを含む高付加価値な長期滞在型モデルプランの造成 ・体験コンテンツ予約・販売サイト「play nagasaki」やグルメサイト「ナガサキ飯」を活用した着地での情報提供の強化 ・市内事業者におけるGoogle Business Profileの活用を促進し、店舗情報の充実を図る取組み	
○長崎さるく推進費 2,072(38,197) ・長崎さるくの情報発信、ガイド研修	
○ナイトタイムエコノミー推進費 1,403(3,181) ・ナイトタイムエコノミーの活性化につながる、長崎ならではのコンテンツとなるような事業を募集し事業者のチャレンジを支援するもの	



【サステナブルツーリズムにおける体験コンテンツの一例】



【ガイドと一緒に楽しむ長崎さるく】



【ナイトタイムエコノミー採択事業・ハイクラスナイトクルーズ・トリップ事業】

②訪問客への情報提供	143,929千円 (事業費 234,895千円)
○観光地域づくり推進費 138,018(193,708) ・観光ワンストップサイト「travel nagasaki」における情報提供 ・YahooやGoogle、Instageram等へのバナー掲出をはじめとしたデジタル広告による訴求プロモーション	
○シーボルト来日200周年記念事業費 3,056(14,737) ・記念事業における広報プロモーション	
○世界・日本新三大夜景推進費 441(9,656) ・日本新三大夜景にかかる情報発信	
○さしみシティ推進事業費 2,414(16,794) ・訪問客に向けた長崎の魚のPRに関する費用	



【travel nagasaki】



【関東圏における夜景に係る写真展】



【さしみシティ紹介イメージ】

③観光施設などの受入環境整備	40,077千円 (事業費 107,992千円)
○観光地域づくり推進費 28,769(45,406) ・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成 ・ユニークメニューの活用等MICE開催時の市内周遊促進に向けた取組み	
○世界遺産保存整備事業費「明治日本の産業革命遺産」 2,103(35,365) ・世界遺産ビジターセンター(グラバー園 旧三菱第2ドックハウス内)のデジタル映像導入等による展示リニューアル	
○総合観光案内所運営費 9,205(27,221) ・長崎駅の総合観光案内所運営に係る費用	



【グラバー園におけるユニークメニュー】



【ビジターセンター展示(5面ディスプレイ)】



【総合観光案内所】

⑤緊急時の対応等	50,000千円
○観光交流基金積立金 ●宿泊税賦課費 19,140千円 (事業費19,154千円) ○宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等	

宿泊税活用の効果

宿泊税を活用した取組みなどにより、令和5年の観光統計において訪問客数は前年比31.4%増の約532万人、観光消費額は前年比38.3%増の約1,435億円、長崎市観光動向調査による訪問客の満足度は95.4%、再来訪意向は94.2%と前年と同程度の高い数値を維持しており、訪問客の利便性・満足度・再訪意欲の向上につながったものと考えられる。

令和5年観光統計・観光動向調査(前年・元年比較)

		令和元年	令和4年	令和5年	【単位:人、億円、%】	
					前年比	元年比
市観光統計	訪問客数	6,917,800	4,048,800	5,319,400	31.4	▲23.1
	観光消費額	1,492	1,037	1,435	38.3	▲3.8
観光動向調査	観光客満足度※1	91.9	96.3	95.4	▲0.9	3.8
	再来訪意向※2	91.0	95.3	94.2	▲1.2	3.5

※1 観光客満足度は「大変満足」と「満足」の合計

※2 R元、R5年:「大変そう思う」と「思う」の合計

R4:「時期はわからないが、機会があれば再び訪れたい」と「1年以内に再び訪れたい」の合計